

上田市教育委員会 10月定例会会議録

1 日 時

平成25年10月17日(木) 午後2時30分から午後4時8分まで

2 場 所

上田市教育委員会(やぐら下庁舎) 2階会議室

3 出席者

委 員

委 員 長	西田 不折
委員長職務代理者	城下 敦子
委 員	小市 正輝
委 員	山崎 順子
教 育 長	小山 壽一

説 明 員

武井教育次長、浪方教育参事、齋藤教育総務課長、倉島学校教育課長、小山人権同和教育政策幹、浅野生涯学習課長、土屋文化振興課長、佐藤スポーツ推進課長、水野丸子地域教育事務所長、柳沢真田地域教育事務所長、児玉武石地域教育事務所長、大塚第二学校給食センター所長、倉澤博物館長、神林中央公民館長、山崎西部公民館長、石井上田情報ライブラリー館長

傍 聴 者 1名

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 重点目標の中間報告について(教育総務課)

資料1により齋藤教育総務課長説明

小市委員

学ぶ意欲を育む授業づくりの取り組みについて、数学の専科教員を増やしたことは大変ありがたい。学校訪問等においては、さまざまな形態で授業が行われており、例えば、1か月単位で違う学校に行っていたり、小学校の先生がメインとなって中学校の先生が机間指導していたりという状況があった。

取り組みを担当している学校や関係機関は、連携して情報交換する機会をとっているか。また、実際にやっている現場にとっての課題は何なのか、うまくいっている点、困難な点について把握していたら教えてほしい。

倉島学校教育課長

現在、5ブロックで実施しているが、進めている形態はそれぞれ違う。ひとつは、中学校側から見て、出向く先生がフリーの立場なのかあるいは担任や生徒指導といった担当を持った先生なのかということによって違う。また、小学校ではクラスの数によってどれだけ授業に入れるかということでも変わってくる。考えているのは、中学校の先生が小学校に入って授業のやり方そのものを教えるという意味合いと、小学校の先生に中学校の進め方を教科に限らず感じ取ってもらい自分のスキルに活かしてもらい、逆に中学校の先生についても小学校の教え方を通じて中学校に戻り小中の連携がうまく動くようにやっていただきたいという意味合いがある。したがって、この数学専科の先生以外にもそれぞれの小中学校に出向いて授業参観を行うことも進めているところである。

課題については、一番は、打合せの時間を取ることがむずかしいということである。このことについては、2時間単位で小学校に行ってもらい1時間を音楽など専科の時間があるので、その間に打合わせができないかというような提案をしながら工夫をしてもらっているが、やはり現場の先生にとっては打合せ時間が短いことが悩みだと聞いている。

情報交換については、4月の段階で関係する先生全員に集まってもらってやってきている。ノウハウを持っている学校もあれば、まだ1年目、2年目という学校もあり、その場で情報交換し、それを持ち帰って現場に活かすという取り組みもしているところである。

西田委員長

情報交換の機会はある定期的にあるのか。

倉島学校教育課長

年度始めと年度末の2回行っている。

城下委員

昨年、24年度の目標管理制度の一連の流れの中で、委員からこの目標管理シートや教育行政に関わる事務事業評価も含めいろいろな意見が出たと思うが、その意見に対してこの中

間報告では何か変わったところはあるか。

齋藤教育総務課長

これまで、様式が見づらいという意見をはじめとした様式の問題や、進捗率の取り扱いが成果と期間とどちらを評価しているのかといった意見等をいただいている。様式については市全体で取り組んでいるものであり、この様式で勘弁いただき了解を得たと思っている。進捗率の問題については、数値として出せるものと出せないものがあり、すぐに成果が判断できないなどなかなかむずかしいと考えている。

教育行政評価の意見については、左下特記事項に教育行政の事務の点検及び評価を反映した点とあり、優先順位の1位と2位については記載のとおりである。いかに形に現して反映させるかということはむずかしい面もあるが、私ども教育総務課の学校営繕については事務の点検と評価において計画的にやってほしいという意見をいただいております、これについては意見のとおりにより計画的に進めてきたつもりである。他の部局においても同じことと思われる。

城下委員

このシートに書かれている表面だけを見ると、昨年と全く同じであるため、説明責任を果たす書き方ではないと考える。特に予算に関わるものを重点的に載せているので、そうでないものはなかなか書き込めないという説明も受けてきたが、予算が絡まなくても大事な取り組みもあり、上田市の教育行政に対してとても変化をもたらした活動というものがある。書き方がよければ全ていいわけではないが、説明責任を果たす意味に加えて、教育委員会はこういうことをやっているというPRの意味からも、もう少し違った書き方ができないか。

例えば、キャリア教育の部分では、のぼり旗の取り組みはどうなったのか。生涯学習の推進による地域の教育力の醸成では、今年2回目となる上野が丘のわいわい塾はどうなったのか。生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備では、夢先生の教室をやってもらったがそれはどうなってしまったのかというところが抜け落ちてしまっていてもったいない。書き方としては、話し言葉で書かれた部分は箇条書にすればスペースを有効に使っているいろいろなことが書き込める。書き方にこだわるというよりも、やっていることをもっとシートに反映させてもらいたい。

学校施設の耐震化推進については、上田市内のすべての小中学校の耐震化の進捗状況、また、改築なのかそうでないのか、今後予定のところは何年度に完了するのか、別に資料として一覧を見せてほしい。

齋藤教育総務課長

全小中学校の耐震化状況について、後日情報提供したい。非構造部材の耐震化まで含めた一覧表は現在ところないが、今後資料を作成して報告したい。

西田委員長

耐震化に関して、当初の目標管理を掲げた時点から、国や県の指摘を受けて途中で変化した部分があるが、それはどのように盛り込むのか。

齋藤教育総務課長

9月議会には変更にかかる予算を提案したが、議決が10月1日であったため、目標管理の中間報告時にそのことを表現していいものかどうか、時系列的な事情があったことを理解いただきたい。

山崎委員

今回の資料は、情報的にはとても平面的な感じがする。もっと肉付けをして内容が盛り込まれた情報が欲しいところである。3月の当初資料、昨年の資料を見て、どんなことがどう変わり何をやっているのかを見たときに、進捗率が重視されると思うが、やはりどういうことをやっているのかがとても大切である。期末報告では、どんな内容があって、どんな成果が上がって、それを来年度につなげていくにはどんなことが必要かというような、厚みのある情報があるとよいのではないか。ホームページにも載せるため、市民にも分かりやすく、具体的に取り組んでいることが分かるともらえると思う。

二中の改築工事については、これから大きな工事が始まる中で、生徒たちへの騒音や安全対策などについては載ってこないのか。例えば、今年の夏は暑かったが、二中では窓を開けられないので扇風機を使うなどの状況があった。その状況等を教えてほしい。

齋藤教育総務課長

体育館の解体工事期間には、暑い時期があり、ほこり等もあった。窓を閉めなければならない教室については、エアコンを設置した。また、設置したエアコンは、今後、古い校舎を取り壊すときに別の場所で活用したいと考えている。通学路等の安全管理については、工事車両が二中の坂のほうから出入りするわけだが、そこには交通整理員を配置して危険のないように十分に指導を行っている。目標管理シートにはスペース的に書ききれないが、部活動の場所の調整など生徒たちに関わる諸々については、学校及び工事関係者等と話をしながら十分に配慮していきたい。

西田委員長

重点目標管理シートは他部局と共通のものであるが、進捗状況としてはやったかやらないかということだけではなく、やったことによる効果、ISO的のところの顧客満足度や事業の評価について、予算執行してそれなりのお金を使っているのが効果がどうだったのかということが重要である。評価がむずかしい面もあるが、厚みという部分ではシートの表現も工夫してほしい。

全委員 了承

3 報告事項

(1) 第8回人権を考える市民のつどいの結果について(生涯学習課)

資料2により小山人権同和教育政策幹説明

西田委員長

大勢の人に聴いてもらえてよかった。講演会を聴いた後、どう展開していったらよいか、具体的に何ができるのかという感想を持った。生涯学習課として次のアクションを起してほしい。

全委員 了承

(2) 4大学リレー講座「未来学科」2013について(生涯学習課)

資料 3 により浅野生涯学習課長説明

城下委員

昨年は、中学生、高校生の参加も大歓迎とあったが、結果はどうだったか。

浅野生涯学習課長

年齢的には、昨年は30代以上になった。10代はなかなか参加できなかったようである。
一昨年は高校生も参加しており、今年は頑張って若年層をねらっていきたい。

全委員 了承

(3) 第27回上田古戦場ハーフマラソン実施報告(スポーツ推進課)

資料 4 により佐藤スポーツ推進課長説明

小市委員

姉妹都市である九度山町からの参加があったが、こちらから九度山町の行事への参加はあるか。

佐藤スポーツ推進課長

今年1月に九度山町で開催されたハーフマラソン大会のときには、上田市からも参加してほしいという要請があり、そこには募集した上田市民ランナーと市役所職員の希望者が参加した。そんな経過があり、反対にこの古戦場ハーフマラソンには是非九度山からも来てほしいという願いをしてきた。もともと九度山町と旧真田町は姉妹都市提携をしており、これまでも九度山町から毎年、真田地域の駅伝大会には駅伝チームが派遣されてきているというような状況で、それらも含めて交流が続いている。

城下委員

長野では桜の時期にマラソン大会を開催しており、観光振興的な面からも考えると、紅葉の季節の実施はどうか。

佐藤スポーツ推進課長

古戦場ハーフマラソンが始まった当時から、体育の日の前後に実施してきたという経過がある。現在のところ、日程を変えたほうがいいという意見は特に聞いていないが、観光面も含めてコース変更などの工夫が必要だという意見は出ている。また、紅葉など観光客が多いような時期での実施となると、ますます道路の渋滞問題が課題となってくる。現在の10月開催でも、遠くからの観光客が車で来たのにマラソン大会で渋滞していて困るという苦情をもらっている。こうした状況との兼ね合いで今後考えていきたい。

全委員 了承

(4) スポーツ関係市長表敬訪問者報告(スポーツ推進課)

資料 5 により佐藤スポーツ推進課長説明

全委員 了承

(5) 平成 2 5 年度丸子文化会館自主文化事業について (丸子地域教育事務所)

資料 6 により水野丸子地域教育事務所長説明

西田委員長

東儀氏はいろいろなところで活躍されているが、1人だけで出演するのか。

水野丸子地域教育事務所所長

東儀秀樹氏はもともと雅楽の伝統的な家の子であり、今回は、母親と姉の3人で一緒に出演する。

西田委員長

出演料はどのくらいか。

水野丸子地域教育事務所所長

予算額は290万円ほどである。

全委員 了承

(6) 行事共催等申請状況について (学校教育課・生涯学習課・文化振興課)

資料 7 - により倉島学校教育課長説明

全委員 了承

資料 7 - により浅野生涯学習課長説明

西田委員長

後援した場合、行事収益の金額について報告はあるか。

浅野生涯学習課長

行事共催等の場合は、必ず実施報告を提出してもらおう。当然、収益金額が報告され、また、収益金を届けた被災地の証明ももらうようになっている。

全委員 了承

資料 7 - により土屋文化振興課長説明

山崎委員

47番の講演会は、先着120名で申し込みは特に必要ないとあるが、それ以上集まった場合は入れないのか。

土屋文化振興課長

市は後援しているのみで共催していないので詳細はわからないが、会場が市民会館大会議室であり、そこに入れるくらいの人数を想定しており、それほど押し寄せることはないのではないか。

城下委員

交流文化施設を立ち上げるためのいろいろな団体があると思うが、交流文化施設のプレ事業というものは、そうした団体と関係なく決定されるのか。

土屋文化振興課長

交流文化施設のプレ事業に関しては、鹿島建設と建設の契約を交わすときにプレ事業の実施を条件のひとつとしており、その契約に基づいて鹿島建設が行っている。また、事業は鹿島建設が選択している。コンサートの入場料は有料であり、入場料の収入と鹿島建設の支出により会場代等開催費用を賄っている。

城下委員

鹿島建設に関係なく、プレ事業としてやりたいという場合には、交流文化施設を立ち上げる団体に話を通すのか。

土屋文化振興課長

新しくできてからこけら落とし的な事業はあると思うが、それは交流文化芸術センターが実施することになる。そのほかに今のところ、プレ事業と名を冠する事業の話はなく、開館以前のものについては特段の受皿もない。

全委員 了承

4 その他

- ・神林中央公民館長より公民館だよりの説明
- ・倉澤博物館長より企画展2種類（上田、丸子）の説明
- ・土屋文化振興課長より城下町映画祭の説明
- ・佐藤スポーツ推進課長より「夢の教室」開催の説明

全委員 了承

閉会